



OASE Operation Autonomy Support Engine **Zabbix連携編 【座学】**

※本書では「Operation Autonomy Support Engine」を「OASE」として記載します。

Exastro Operation Autonomy Support Engine Version 1.4
Exastro developer

目次

1. はじめに
 - 1.1 Zabbix連携編【座学】について
2. フローの説明
 - 2.1 フロー全体図
 - 2.2 監視対象の設定
 - 2.3 モニタリングの設定
 - 2.4 ルールマッチング～アクションの設定

1. はじめに

1.1 Zabbix連携編【座学】について (1/2)

まえがき

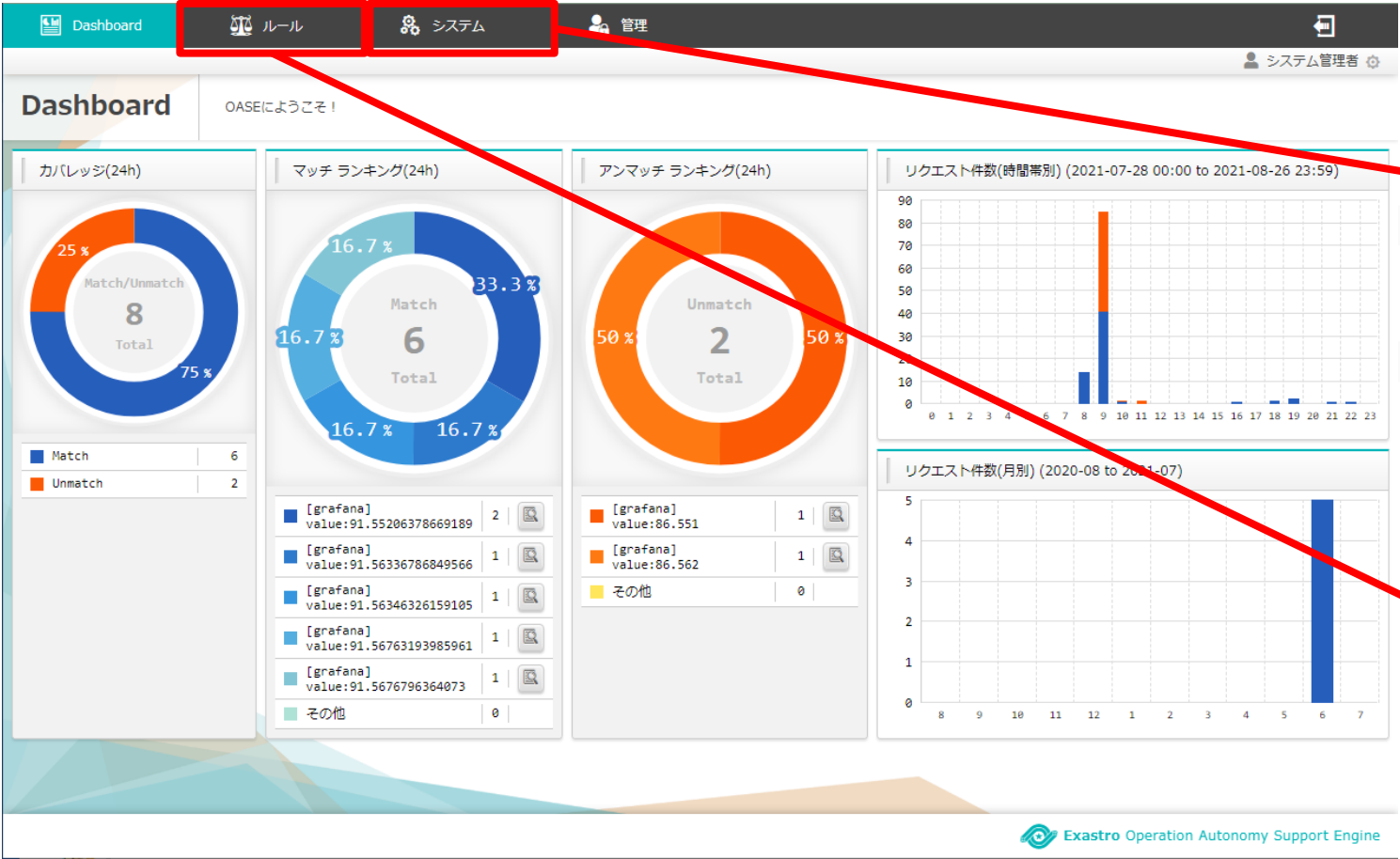
- 本稿は、Exastro Operation Autonomy Support Engine (OASE) を利用する上で、基本的な機能の理解を支援するための資料です。
- OASEはいくつかのソフトウェアと連携が可能ですが、本稿では「Zabbixアダプタ」および「メールドライバ」との連携を対象とします。
- 実践形式でさらなる知識を深めたい場合は、具体的な手順に沿った資料である< Exastro OASE Zabbix連携編【実習】 > をご参照ください。
- 包括的な内容としては、Exastro OASE の公式マニュアル集である< [OASE docs](#) > をご参照ください。



1.1 Zabbix連携編【座学】について (2/2)

Zabbix連携編はOASEの以下機能（画面）を用いる

● Dashboard画面



カテゴリ：システム

画面名称
監視アダプタ
アクション設定

カテゴリ：ルール

画面名称
ディシジョンテーブル
トークン払い出し
ルール
リクエスト履歴
アクション履歴

2. フローの説明

2.1 フロー全体図(1/3)

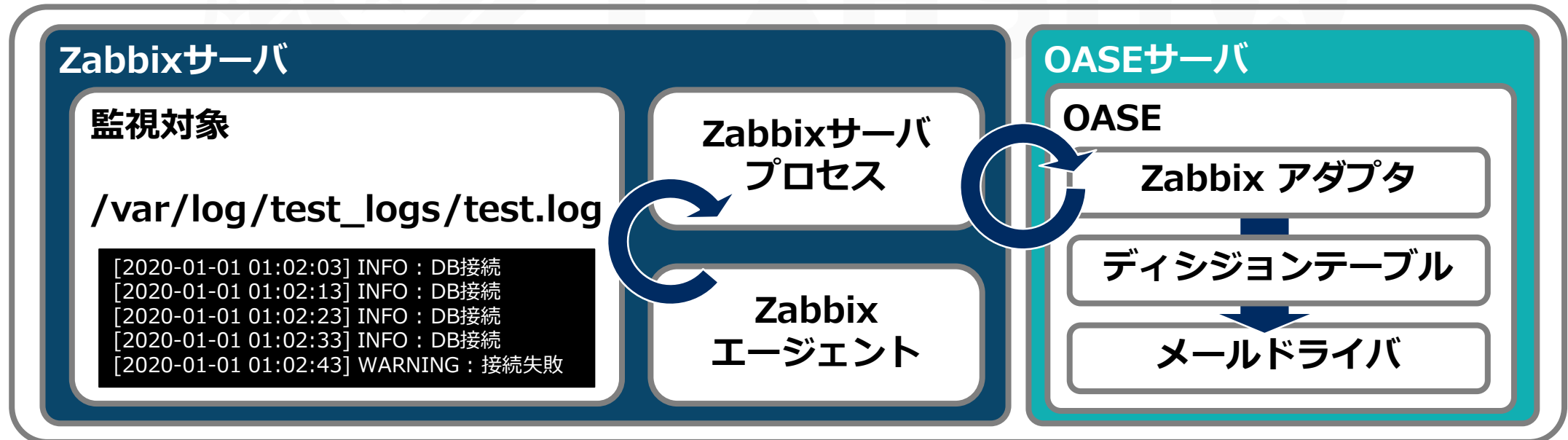
「Zabbix連携編【実習】」では、「Zabbixサーバ」と「OASEサーバ」の2環境を用意し実施する

● Zabbixサーバ

- Zabbixサーバプロセスおよび、監視対象を監視するZabbixエージェントをインストールしている環境
- 監視対象となるログファイルを用意
- ※フロー簡略化のため「監視対象&Zabbixエージェント」と「Zabbixサーバプロセス」を同じサーバ内とする

● OASEサーバ




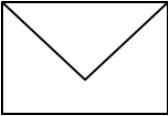
- OASE、監視アダプタおよびドライバをインストールしている環境



2.1 フロー全体図(2/3)

「監視対象」「Zabbix」「OASE」を連携させることが可能

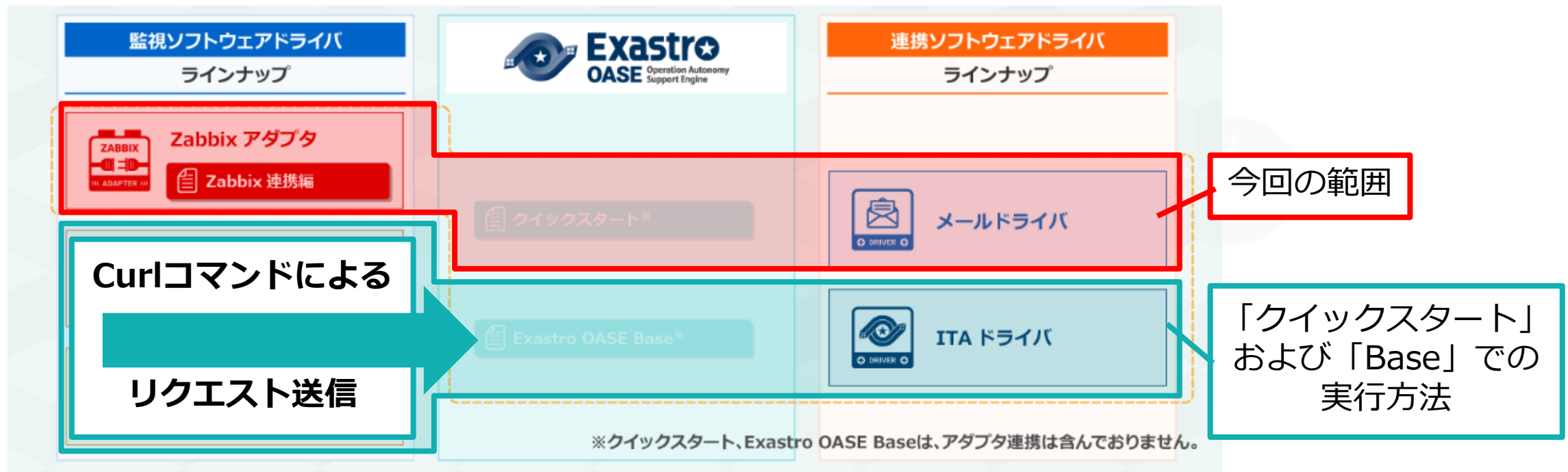
- 例として、特定の文字列（WARNING）を含んだログが出力されたことをZabbixエージェントが検知し、Zabbixサーバプロセスのdashboardにアラートが表示されたらOASEがキックされメールが送信される一連の流れを想定する

フロー	監視対象	モニタリング	ルールマッチング	アクション
イメージ	<div>サーバ ログファイル</div> 	<div>Zabbix Dashboard</div> 	<div>ディシジョンテーブルと ディシジョンテーブルファイル</div> 	<div>メールドライバ</div> 
説明	監視対象としてZabbixサーバにログファイルを用意 ログをechoで追加していく	ログファイルに「WARNING」が出力されたことをZabbixエージェントが検知、Zabbixサーバプロセスのダッシュボード画面にアラートを表示させる	アラートをOASE（監視アダプタ）が検知しルールマッチング実施 アラート名に“WARNING”を含む場合、メール通知するようにルール作成	ルールマッチングしたらメール通知する

2.1 フロー全体図(3/3)

監視アダプタを用いたOASEの実行

- 「クイックスタート」および「Base」ではpush型のリクエスト送信（=cURLコマンド）を行っていたが、「Zabbix連携編」ではZabbixアダプタを用いたpull型のイベント検知をすることが可能

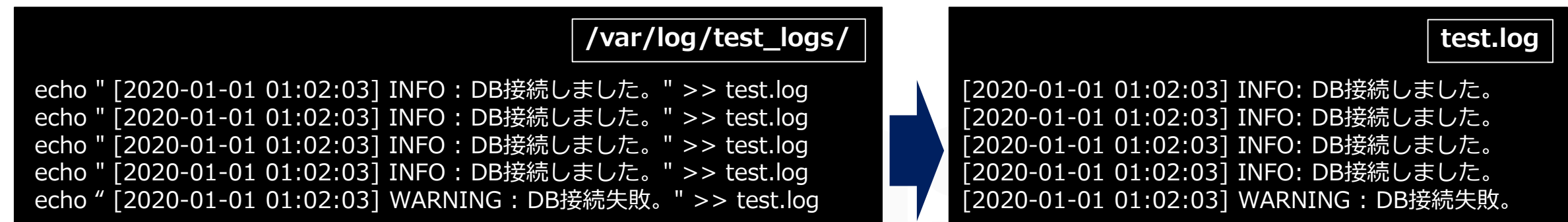


※Zabbixサーバプロセスのアクション設定にて、「実行内容のタイプ」を「リモートコマンド」とすることでZabbixからOASEへpush型のリクエスト送信（リクエスト用のシェルを実行させること）も可能ではあるが本書では取り扱わない

2.2 監視対象の設定

監視対象のサーバにログファイルを用意

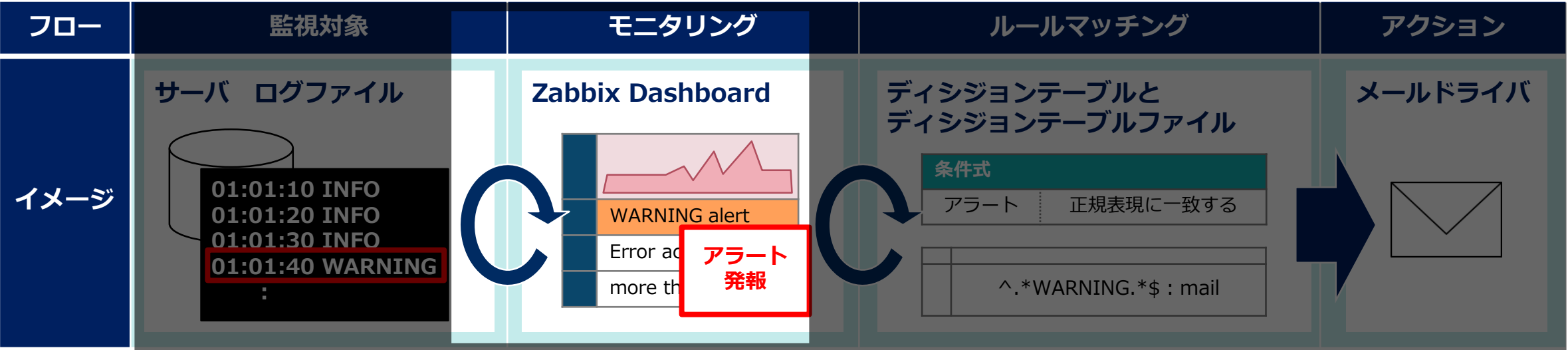
- 「/var/log/」配下に「test_logs」ディレクトリを作成しログファイル「test.log」を用意する
- ログファイルにechoでログを追記する



2.3 モニタリングの設定

Zabbixの設定

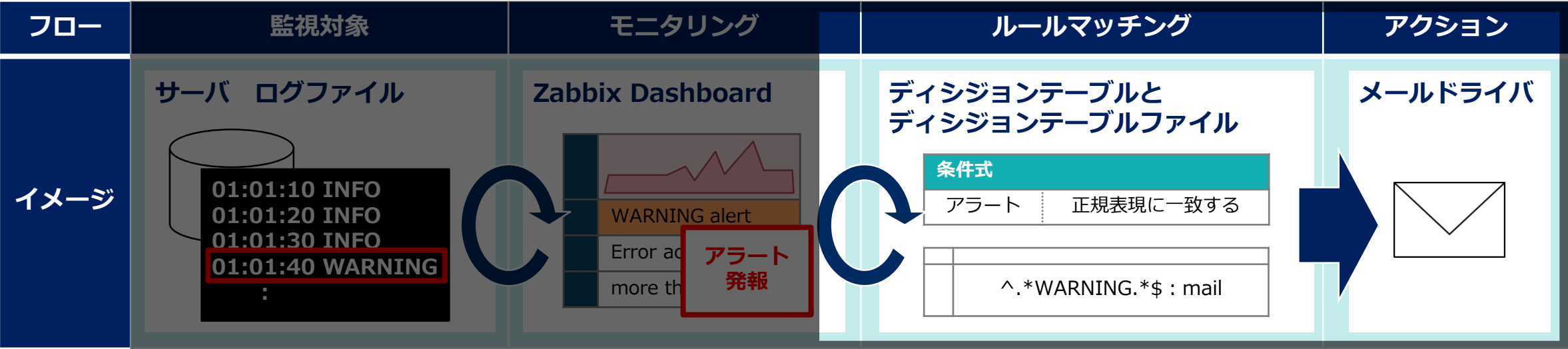
- ホストの登録（監視対象となる端末の情報を登録する）
 - 「Zabbix server」をホストとする
- アイテムの登録（検知対象となるログの情報を登録する）
 - 「/var/log/test_logs/test.log」を対象として登録する
- トリガーの登録（アラート発砲の条件を登録する）
 - トリガー（Zabbixのダッシュボードに表示される「WARNING alert」）を作成する



2.4 ルールマッチング～アクションの設定

OASEの設定

- 事前設定
 - ・監視アダプタのインストール～設定（モニタリングするZabbixの情報を登録する）
 - ・メールドライバのインストール～設定（メールドライバの登録、メールテンプレートを作成する）
 - ・ディシジョンテーブルの作成
- 作業実行
 - ・ディシジョンテーブルファイルの作成（アラートに「WARNING」を含んでいる場合メールドライバがアクションを実行するよう設定）
 - ・ルールの登録、ルールマッチング（ステージング適用、プロダクション適用）





Exastro